

文部科学省科学研究費補助金(研究成果公開促進費) 補助事業

第25回日本霊長類学会学術大会 公開シンポジウム

「母親」

「霊長類学」と「子ども学」の クロスディスカッション

霊長類学からの話題提供

チンパンジーの母子の参与観察から見えてくる「母親」

明和政子(京都大学大学院文学研究科)

母になること、母でいること -ニホンザルとヒトの母子関係比較-

広谷浩子(神奈川県立生命の星・地球博物館)

「母親」を育てる ~母性をひきだすきっかけづくり~

不破紅樹(林原生物化学研究所類人猿研究センター)

だれもが「母親」：アフリカ焼畑農耕民社会の「母親」のすがた

杉山祐子(弘前大学人文学部)

子ども学からのコメント

林陽子(中部学院大学子ども学部)

別府悦子(中部学院大学子ども学部)

総合討論

参加無料

日時：2009年7月20日(海の日)

14:00~17:00

場所：中部学院大学各務原キャンパス

お問い合わせ：

第25回日本霊長類学会実行委員会

504-0837

岐阜県各務原市那加甥田町30-1

中部学院大学子ども学部

竹ノ下研究室内

Tel & Fax: 058-375-3625

E-Mail: psj2009@chubu-gu.ac.jp

URL: <http://www.chubu-gu.ac.jp/>

後援

岐阜県教育委員会 ・ 各務原市教育委員会

犬山市 ・ 犬山市教育委員会

財団法人日本モンキーセンター ・ 中部学院大学

「母親」について、いっしょに考えてみませんか？

現在、「母親」が揺らいでいます。生活様式の多様化により、母親たちが自らの「あるべき姿」を見出すことが困難になっています。他方、さまざまな「あるべき姿」が提示される中、その「あるべき姿」になれず悩む母親も増加しています。現代の母親はどうあるべきなのでしょう。

日本の霊長類学は、ヒトを含めた霊長類の研究を通じ、人類社会や家族の起源と進化を解明することを目的の一つとしてきました。母親の行動・社会関係・心理などに関しても、フィールドワークに基づく野外研究、実験室での心理学的研究、生殖生理といった諸領域からの多くの研究の蓄積があります。

「子ども学」は、「子ども」およびその周辺領域に関する、総合的な新学問分野です。既存の学問分野の枠組みを超え、子どもという存在を総合的に捉え、「子ども理解」を基本に、発達障害や子育て支援といった現代的問題にもとりくむ領域です。

本シンポジウムでは、まず霊長類学の立場から、ヒトの母親をめぐる議論にあらたな論点を提示しようと思います。次いで、そうした論点をどのように発展させてゆくことができるか、子ども学の立場から検討します。ふたつの学問領域をクロスさせた討論を通じ、現代の母親問題を解きほぐす糸口を探ります。

(オーガナイザー・第25回日本霊長類学会大会長 竹ノ下祐二)

話題提供

明和政子

京都大学大学院教育学研究科 准教授

京都大学大学院教育学研究科博士課程修了（教育学博士）。
日本学術振興会特別研究員、京都大学霊長類研究所研究員、滋賀県立大学人間文化学部講師を経て現職。専門は、比較認知科学、発達心理学。
著書に、『なぜ「まね」をするのか』（河出書房新社）、『心が芽ばえるときーコミュニケーションの誕生と進化』（NTT出版、単著）など。

不破紅樹

林原生物化学研究所類人猿研究センター・主任研究員

日本動植物専門学院・野生動物科卒業
野生動物行動生態研究アシスタントとして奄美大島、ツアモツ諸島、オーストラリアなどでクロサギの採食生態調査に従事。
ザイル共和国ルオー特別科学保護区霊長類保護官、財団法人大阪府緑化環境協会・自然解説員等を経て、
1998年より現職

広谷浩子

神奈川県立生命の星・地球博物館 主任学芸員

京都大学大学院理学研究科博士後期課程修了（動物学専攻）
財団法人日本モンキーセンター リサーチフェローを経て、
1992年より現職

杉山祐子

弘前大学人文学部 教授

博士（地域研究）
専門は生態人類学。
1983年から中南部アフリカのザンビア北部州に住むベンバの人びとの村でフィールドワークを開始する。乾燥疎開林帯にくらすアフリカ農民の生活を、ジェンダーや近代化政策との関連を中心に研究している。日本では、弘前大学の同僚や学生と共同で、津軽地域の研究を進めている。

コメンテータ

林陽子

中部学院大学子ども学部 教授・学部長

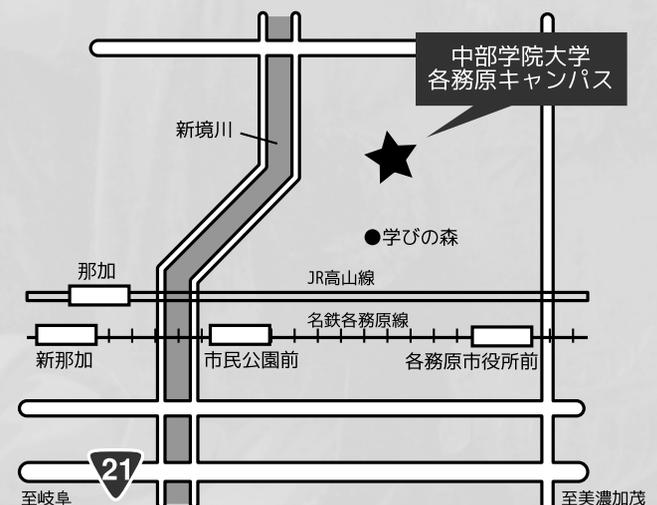
名古屋大学大学院教育学研究科修士課程修了
岡崎女子短期大学、中部学院大学短期大学部教授を経て、
2009年より現職。
現在の研究テーマは、乳児保育の内容と方法、保育者養成教育の内容と方法、デンマークの保育者養成など。
「新版 資料でわかる 乳児の保育新時代」（共著 ひとなる書房）ほか著書多数。

別府悦子

中部学院大学子ども学部 教授

奈良教育大学教育学部卒業
滋賀大学大学院教育学研究科修了（障害児教育学専攻）
愛知県立大学文学部児童教育学科、中部学院大学短期大学部幼児教育学科助教授中部学院大学人間福祉学部健康福祉学科助教授、教授を経て
1992年より現職。
臨床心理士、学校心理士、臨床発達心理士。

ご案内図



交通アクセス

- 名鉄各務原線「各務原市役所前駅」下車 徒歩5分
- JR高山本線「那加駅」下車 徒歩10分